

「よくわからないもの」との対峙

～多様な価値の理解と創造に向けて～

作曲家・森紀明による、音響と身体表現による作品制作とワークショップ

参加者固有の日常的な身振りと、それらに付随する音を主な素材とし、
音と動きによる時間と空間のスカulptチャーを作ります。

領域横断的な作品制作を通して、参加者それぞれの「よくわからないもの」と向き合います。

学外向けワークショップ

日時 2023年6月19日(月) 18:00-20:00

場所 愛知県立芸術大学中リハーサル室

募集

- 参加資格: 身体表現と音の関心に興味がある方。年齢経験不問。
- 内容: 身の回りにあるものを使った、身体と音のデザイン。何がダンスになり、何が音楽を形作るのか。参加者と共に考え、実験し、体験します。
- 参加無料 ○定員20名(学外者優先受付)

申込方法(事前申込制) お電話☎0561-76-2851にてお申込みください。

先着順(定員になり次第締め切らせていただきます)

申込期間

5月16日(火) 10:00~6月15日(木) 17:00

コンフォートゾーンを超えて アーティスト・イン・レジデンス 成果発表

日時 2023年7月6日(木)
18:30開演(18:00開場)

場所 愛知県立芸術大学室内楽ホール

申込方法
(事前申込制)

お電話☎0561-76-2851
または申込みフォーム
からお申込みください。

申込み
フォーム



入場無料/全席自由

先着順(定員になり次第締め切らせていただきます)

申込期間

[学内先行申込み]

6月6日(火) 10:00~6月12日(月) 17:00

[一般申込み]

6月13日(火) 10:00~7月4日(火) 17:00



レジデンス・アーティスト 森 紀明(作曲家)

現代音楽、ジャズ、即興音楽、実験音楽の間に主に活動する作曲家、バンドリーダー、サクソフォン奏者、パフォーマー、イベントオーガナイザー、キュレーター。作曲家としては、自身のバックグラウンドを活かした幅広いアイデアをもとに、作品ごとに異なる作曲手法や素材を援用し、様々な芸術分野を超えて作品を発表している。キュレーション型作曲家コレクティブ、Cabinet of Curiositiesの代表を務めるほか、領域横断型アーティスト・コレクティブ、Crossingsなどの活動を通して他ジャンルのアーティストとのコラボレーションも多い。これまでに作品は、ダルムシュタット現代音楽講習会、アハトブリュッケン音楽祭、モントリオール・ジャズ・フェスティバル、武生国際音楽祭を含む北米、ヨーロッパ、東アジア各地で演奏され、WDR3でも放送されている。

ゲスト・アーティスト 青木 尚哉(ダンサー)

振付家/ダンサー。16才よりジャズダンスからスタートし、バレエ、モダンを並行して学ぶ。04年から08年まで新潟市レジデンシャルダンスカンパニーNoismに所属。その間に出会ったボディワークから身体構造の知を得て、身体の形や動きを観測する身体感覚メソッド「ポイントワーク」を開発し、各地でワークショップを行う。2017年より共同体験による身体の変化を狙う「青木尚哉グループワークプロジェクト」を発足。2020年、「zer〇」と改名する。ダンス活動の他、小学校への派遣授業や、公共施設やホールでの市民講座、公演等を手がけるなど、社会におけるダンスの視座の拡大を狙った活動をしている。古民家ギャラリー「海老原商店」では定期イベント「EBILAB」を開催する他、月一で誰でも入店できる「EBILAB 日和」を企画し一日店主を務める。2021年よりバレエ安全指導者資格(SDA)の実践講習を担当。



お問い合わせ

愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課
〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114
☎0561-76-2851 (受付時間 平日 9:00~17:30)
URL <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/>

アクセス

- ◆名古屋方面から
市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、
東部丘陵線(リニモ)に乗り換え「芸大通」駅下車 徒歩約10分
- ◆豊田・瀬戸方面から
愛知環状鉄道「八草」駅下車、
東部丘陵線(リニモ)に乗り換え「芸大通」駅下車 徒歩約10分

